

課題研究(Preliminaries to Graduation Thesis)

| | | |
|-------------------|--|-------------------|
| 担当教員名 | E 全 | |
| 学科・専攻、科目詳細 | 電気情報工学科 情報工学コース 4年 後期 1単位 演習 | |
| 学科のカリキュラム表 | 専門科目 必修科目 | |
| 共生システム工学の科目構成表 | 専門工学科目 演習系 | |
| 学習・教育目標 | 共生システム工学 | D-3(70%) F-2(30%) |
| | JABEE基準1(1) | (f)(g)(h) |
| 科目的概要 | 年生の卒業研究に必要な基礎的素養を身につけること。研究課題に取り組むために必要な基礎知識を学び、課題に対するアプローチ方法について検討できること。 | |
| テキスト(参考文献) | 必要に応じて、指導教員が配布する。 | |
| 履修上の注意 | 自主的・継続的に研究に取り組むこと。 | |
| 科目的達成目標 | (1)継続的に物事を探求する生涯自己学習能力及び創造性(D-3) (2)取り組んだ課題について得られた成果をまとめるための文章表現力(D-3) (3)研究課題をさまざまなアプローチで検討することで得られる柔軟かつ創造的な発想性(F-2) | |
| 自己学習 | 目標を達成するためには、定められた課題研究の時間以外での自己学習が不可欠である。 | |
| 目標達成度(成績)の評価方法と基準 | 合格の対象としない欠席条件(割合) | その他 |
| | 評価点(100%) = 取り組み点(50%) + 発表会点(発表点: 25% + レジュメ点25%) 課題研究ノートより、主に自主的・継続的な研究の取り組み(達成目標(1))について下記の項目をもとに指導教員が10点満点で評価し、5倍する。 (a)研究時間、(b)研究に対する姿勢、(c)研究課題の基礎知識の理解度 課題研究発表会では、発表会に参加した全教員がレジュメと発表各10満点、計20点満点で評価し(達成目標(2)と(3))、それらを平均して2.5倍する。 (a)レジュメの見栄え、文章表現、(b)発表態度、発表時間、発表構成 (c)研究課題での問題点の理解、(d)研究課題に対する今後のアプローチ 上記すべての評価対象資料が揃っていることを必須条件とする。以上を総合し、60%以上取得した者を合格とする。ただし、(1)、(2)のどちらかの項目で60%未満の評価がある場合、学科会議で審議するものとする。審議の結果次第では、再発表等により再評価を行うこともある。 また、研究取り組み時間が22.5時間未満の学生は、評価の対象としない。 | |
| 連絡先 | tsutsumi@akashi.ac.jp, narieda@akashi.ac.jp | |

| 授業の計画・内容 | |
|----------------------------|--|
| 第1週 研究室の配属 | 研究室の配属を決定する . |
| 第2週 課題研究 | 指導教員の指示に従って , 講義による学習 , 文献調査 , 実験などを行う . |
| 第3週 同上 | 同上 |
| 第4週 同上 | 同上 |
| 第5週 同上 | 同上 |
| 第6週 同上 | 同上 |
| 第7週 同上 | 同上 |
| 第8週 同上 | 同上 |
| 第9週 同上 | 同上 |
| 第10週 同上 | 同上 |
| 第11週 同上 | 同上 |
| 第12週 同上 | 同上 |
| 第13週 同上 | 同上 |
| 第14週 課題研究発表会レジュメの作成 | これまでの課題研究の成果をまとめ , 課題研究発表会のレジュメ(A4両面1枚)を作成する . |
| 第15週 課題研究発表会 | 課題研究の成果を口頭で発表する . 場合によって黒板 , 白板を使用する . |
| 期末試験実施せず | |